

発行日 2026年 9月11日

389号

日本労働組合総連合会 連合北海道
渡島地域協議会/函館地区連合会
事務局長 長谷川 義樹
函館市新川 2-16 道南労働福祉会館
TEL0138-22-5723
FAX0138-26-1101

R NEWS 渡島 Reng 島

道南ブロック労働協 「身近な課題から学ぶウェルフェアスクール」を開催



会場の様子

北海道労働者福祉協議会道南ブロックは、7月25日(土)13時30分から函館国際ホテルにおいて、ウェルフェアスクール(自主福祉運動)を開催しました。当日は全体で87名が参加しました。

講演では、函館弁護士会刑事弁護センター委員長の田中綾太郎弁護士(渡島地協顧問弁護士)から「犯罪と刑事罰の実態」、ろうきん函館支店・高橋渉外係長から「マネートラブルにかつゝ組合員の多重債務防止に向けて」、こくみん共済coop道南支店・

谷川支店長から「もしもの事故、その時どうする?マイカー共済で備える安心」と題して、それぞれ講演がありました。開催にあたり、労働協道南ブロック・佐藤会長から、「昨年は参議院議員選挙の関係で開催できなかった。道南地域での開催は14回目であり、大変歴史のある集会である。今後も、労働福祉団体と連携するとともに、労働者自主福祉運動の拡大に向け積極的に取り組んでいきたい」と挨拶がありました。田中弁護士からは、犯罪とは何かという基本的な考え方をはじめ、責任能力、法解釈、刑事手続、刑罰、再審制度、裁判員裁判などについて、具体的な事例を交えながら、犯罪と刑事司法の実態を分かりやすく解説していただきました。高橋渉外係長からは、携帯料金や奨学金の滞納、リボ払い、個人間融資、カードローンなど、身近なお金のトラブルや多重債務について、具体例を交えながら、トラブルを防ぐための注意点や困ったときの相談先について解説していただきました。谷川支店長からは、もしもの事故に備え、車両損害補償を



講演・高橋渉外係長

はじめ、無過失事故に関する特約、弁護士費用補償、新車買替特約、付随諸費用補償など、マイカー共済の補償内容や具体的な事故事例について、分かりやすくアドバイスをいただきました。

道南ブロック労働協は、今後もウェルフェアスクールを継続して開催し、労働者自主福祉運動の重要性を広く伝えるとともに、次代を担う若手への運動の継承に向け、取り組みを進めていきます。

連合渡島地域協議会主催

学びと交流を通じて仲間の輪を広げる「新入組合員研修会」を開催



講演・高橋労働相談員

連合渡島地域協議会は、2026年7月25日(土)、函館国際ホテルにおいて「2026 渡島地域新入組合員研修会」を開催しました。研修会では、函館地区連合・高橋労働相談員から「労働組合の役割と労働関係法」について、また、中道改革連合北海道第8区総支部代表・前衆議院議員の逢坂誠二氏から「私たちの暮らしと政治の関わり」についてお話をいただきました。

さらに、労働金庫函館支店・高橋渉外係長から「ろうきんとお金にまつわる基礎知識」、こくみん共済coop道南支店・福崎副支店長から「はじめての保障選び〜こくみん共済を知ろう〜」について講演をいただきました。最後に、函館地区連合青年委員会・石井委員長から「函館地区連合青年委員会・女性委員会の活動」について活動紹介も行われました。

研修会終了後の懇親会では、産別・単組の垣根を越えて楽しく交流を深め、組合員同士のつながりを深めるとともに、今後の労働運動を担う仲間づくりにもつながる機会となりました。

この研修会は、単に労働組合や暮らしに関する基礎知識を習得するだけではなく、労働運動を通じた地域の組合員同士の仲間づくりにもつながる貴重な機会となっています。今後も、多くの組合員の皆さんに参加いただき、学びと交流を通じて、これからの労働運動を担う仲間の輪を広げていきたいと思います。

「ユニオン・スクール渡島」・第13期生 第3回学習会を開催し10名に修了証を授与する！

連合渡島地協・函館地区連合会は、組合活動の今後の担い手となる人材育成のため、2010年度からユニオン・スクール渡島を開校し、学習会や模擬交渉を実施しています。2026年2月21日(土)に第1回学習会(開校式)、5月23日(土)に第2回学習会、8月29日(土)に第3回学習会を道南労働福祉社会館にて開催しました。第13期ユニオン・スクール第3回学習会には7単組から10名の組合員が参加し、講師に連合北海道組織労働局次長の小野寺教文氏を迎え、模擬団体交渉を中心に学習しました。

模擬団交に向け、グループワークで執行委員会を開き、役員選出、要求内容や落としどころなどを整理したうえで交渉に臨みました。今回は「給与・退職金の減額提案」と「希望退職」をテーマに、実際の労使交渉を想定した模擬団交を行いました。受講生は、慣れない団体交渉に四苦八苦しながらも、グループで協力して交渉を進めました。講師からは、会社からの提案をそのまま受け止めるのではなく、会社の経営状況を見定め、提案内容が妥当かを見極めることが重要とのアドバイスがあり、事前準備や情報収集の重要性について理解を深めました。

模擬団交終了後には佐藤校長から修了証書が授与され、第13期ユニオン・スクールの全課程を修了しました。受講生の皆さんには、これまでの学習で得た知識や経験を今後の組合活動に生かし、それぞれの職場で積極的に活動していくことが期待されます。

ユニオン・スクールは、将来の組合役員候補者や組合活動に関心のある組合員が、労働組合の役割や活動について学ぶ機会となっています。また、実践的な学習を通じて知識や交渉力を身につけるとともに、単組の垣根を越えた仲間との交流や横のつながりを深めることにもつながっています。今後もユニオン・スクールを継続し、次世代を担う人材の発掘・育成と、組織を支える仲間の輪を広げる取り組みを進めていきます。



団体交渉を申し入れる受講生



模擬団交の様子

修了証を授与した受講生のみなさん
(下段中央左:小野寺次長, 右:佐藤校長)

被災地の復旧・復興を願い「熊本地震災害義援金募金」を実施

連合渡島地協・函館地区連合会は、8月8日(土)、函館市本町交差点において、立憲民主党北海道第8区総支部・函館支部と共同で「令和8年熊本地震」被災地支援のため、街頭で災害義援金募金活動を行いました。

当日は、議員団や産別・単組の組合員のみなさんが街頭に立ち、被災地への支援を呼びかけ、多くの市民の皆さんから温かいご支援をいただきました。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地の復旧・復興支援に役立てられます。

なお、義援金の取り組みは10月26日(月)まで実施します。

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。被災された地域が一日も早く日常を取り戻すためには、息の長い支援が必要です。

連合渡島地協・函館地区連合会は、これからも「助け合い・支え合い」の精神を大切にし、被災地の復旧・復興に向けた取り組みを続けてまいります。

募金活動にご協力いただいた産別・単組の組合員の皆さん、そして募金にご協力いただいた市民の皆さんに、心より感謝申し上げます。



募金を呼び掛ける組合員さん



募金活動の様子

～お知らせ～

無料法律相談9月(毎週火曜日)

9月15日(火) 17:20～ 9月22日(火) 祝日休み

9月29日(火) 17:20～

【受付電話0138-22-5723】

道南労働福祉社会館を利用しよう！

Wi-Fi 完備！各種会議、打ち合わせ、サークル活動にご利用ください。

(利用料はお尋ねください)

TEL 0138-22-5723

